



Kawasaki Robot e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する電子情報誌です。

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

2009 年は皆様方にとっても、そして私たちロボット産業にとっても本当に普通ではない年でした。とても厳しい一年でしたが、これも「貴重な経験ができた」と前向きに受け止めたいと思っております。今回のことを経て、お客様の生産ラインに対する考え方も変わっていくでしょう。その中で私たちに何がご提案できるのかを今、カワサキの一人一人は考えています。

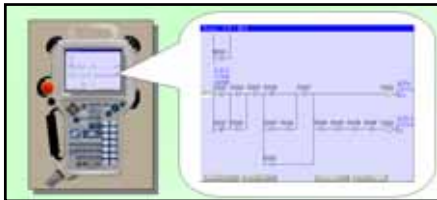
2010 年、少しでも多く皆様のお役に立てる事業でありたいと存じます。新しい気持ちで頑張ってみますので、何卒、お引立てくださいますよう、お願い申し上げます。(川崎重工 執行役員、ロボットビジネスセンター長 山口雅敏)

新製品 MX700Nを納入

カワサキは超大型汎用ロボット M シリーズの最大機種 MX700N の出荷を開始しました(写真右)。この MX700N は最大可搬質量が 700 kg で、最近増えてきた重量物のハンドリングに対応するものです。今まで最大 500 kg だった最大可搬質量 (MX500N) をリーチをそのまま 200 kg 拡大したのですが、MX シリーズのスリムな本体構造はそのまま踏襲しています。この新機種発売で、カワサキロボットのラインアップは 3 ~ 7 0 0 kg となり、適用の幅がよりいっそう拡大されました。MX700N の初号機はすでにドイツにある欧州販売子会社経由でデンマークの代理店に納入されました。



便利なソフトの紹介 (PLC 機能内蔵 K-LOGIC)



ロボットシステムで各種信号の制御にハード PLC を使用する代わりに Klogic が便利です。このオプションは専用の制御盤やボードを外部に設置せず、ロボットコントローラ内でシーケンス制御を実現するソフト PLC 機能です。専用プログラミングソフト KLadder を使用することで、ラダー図を用いてシーケンス制御プログラムを作成・編集できます。また、プログラムの管理は通常のロボットプログラムと同じように行えます。KLogic はロボットコントローラで使用している I/O、

フィールドバスを使用することができます。ラダー上の I/O、接点は TP 上でモニタ表示することができます。どうぞご利用を検討ください。(マニュアル: D コン 90210-1186、E コン 90210-1083)

海外販売紹介 (中国)

川崎机器人(天津)有限公司は 2006 年に設立した中国のカワサキのロボット拠点です。天津市の本社のほか、上海、広州、昆山の 3 箇所に分公司があり、総勢 43 名のスタッフが成長し続ける中国の自動車産業、一般産機分野、半導体産業でロボットの販売、サービス、エンジニアリングを行っています。昨年は天津本社を拡充移転すると共に、昆山市に新たな調達拠点も設立しました。世界的経済危機もよそに急速な経済発展を続ける中国市場で、多様化し拡大するお客様のニーズにお答えしてまいります。(Website: www.kawasakirobot.cn)



適用事例ビデオ

カワサキは 2009 年度版ロボット適用事例集を完成しました。ロボット適用事例は 2 年毎に作成して販売会社、代理店に配信していますが、今回は新規 10 件を含む計 23 件の適用事例を約 53 分の DVD にしたものです。日本語ナレーション入りですが、英語サブタイトル入りの英語版も製作中です。



川崎重工業(株)ロボットビジネスセンター

〒673-8666 兵庫県明石市川崎町 1-1
電話 (078)921-2946 Fax (078)923-6548

(株)カワサキマシンシステムズ

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-15-9
電話 (03) 5807-7171 Fax: (03) 5807-7170



URL: www.khi.co.jp/robot/

